

2021年8月10日(火)金沢ニューグランドホテルにおいて、第1467回通常例会(ZC訪問)が開催されました。8月8日に東京2020オリンピックが閉幕し、金沢市に「まん延防止等重点措置」が適用されている中、万全の感染症予防対策を施した上で開催いたしました。本例会には、ライオンズクラブ国際協会334-D地区4R3Zゾーン・チェアパーソン寺西茂正L.(金沢ひかりLC所属)、同地区4R3Z副ゾーン・チェアパーソン米林正克L.(金沢伏見LC所属)、同地区LQ・青少年育成委員山本巖L.(金沢ひかりLC所属)をお招きいたしました。



堀岡会長の会長挨拶では、8月6日の広島原爆投下、8月9日の長崎原爆投下を日本人は絶対に忘れてはいけないこと、世界は核不拡散、核廃絶を唱えながらも「核の傘」により世界が均衡を保っている不条理を認識しつつも、それでもライオンズマンとして平和を愛し、平和に向かって努力しなければならないとの決意を述べられました。また、東京2020オリンピックの開催については、世界的なパンデミックの中オリンピックを開催することは日本でしかできなかったであろうし、そのオリンピックで日本が58個のメダルを獲得することができたことは素晴らしく誇りに思っていることであり、後世にまで語り継がなければならない出来事であると評価されました。さらに当クラブのアクティビティは「われわれは目立ってはいけない」ことを大前提に、その一つである「ランドセル事業」について某地方新聞に記事が掲載されたこと、現在150個のランドセルが集まり、もしかすると300個以上のランドセルが集まる可能性があるかと伝えられ会長の挨拶を締めくくりました。

つづいてゾーン・チェアパーソン寺西茂正L.より、ご挨拶をいただきました。「ゾーン・チェアパーソンは、ガバナーの方針を各クラブに伝えることが役割です。今年度の地区スローガンは、ライ



オンズクラブ活動で人間力が高まり、豊かな人生に繋がる事に願いを込めて『We Serve with a Linked Heart』です。サブタイトル『Linked Heart』は、心を繋いでさえいれば助け合いが生まれ、支え合うことが出来ると思います。『奉仕こそが夢と希望を育む、そう信じて、一緒に』との決意に続き、今年度の活動の内容として「主に『GLT』と『GMT』です。『GLT』とはリーダーシップの開発のことで、ライオンズリーダー育成塾(LLDW)を基礎編と上級編にわけて今年の10月頃に開催する予定です。もう一つの『GMT』とは会員の増強です。昨年度は17ゾーンの内、4ゾーンで会員が増え13ゾーンで会員が減少しました。その中でも334-D地区の3ゾーンでは18名が減少しています。キャビネットとしましては、コロナ禍で大変な時期ではありますが、今年度各クラブで1名の会員増をめざしていただきたいと思っています。」

最後に、テールツイスター代理 草野哲也L.からドネーションの発表を受け、自身がサッカー選手の本田圭佑氏の講演に行った際に聞いた本田圭佑氏の好きな言葉を発表して第1467回例会が終了となりました。

「人生は思い通りにいかないからこそ熱くなれる、限界を作るな！困難を楽しめ！」

by 本田圭佑

**編集後記** 東京オリンピック、夢と感動をありがとう。私たちもがんばろう！・・・担当、L.中田